

[出演者：公募による一般市民]

浅津劣斗 / 石宮古巻 / 市川

瑞希 / いちごミルク / うさっ

ピー / 大田あやこ / オダギリ

子 / 音猫 / おまつ / 掛橋修

／季咲 / キュート / 栗林昌

弘 / 小平井友紀 / 近藤トム

／さくら / サッチ / さとうは

るか / Satomi / 清水美穂

／笑多 / ジロー / 鈴木のり

こ / 平みい / たみこながた

／チロル / ネネム / 野々垣

健 / 早瀬まどか / バラッサ

／春野園 / 日向ちな / ピル

クル加藤 / 深谷美ノ里 /

Maeyan / 水浜ゆう / みんな

／若紫 / 和笑 / わびさび

文化工房ガリヤ 第4回企画公演

# 市民劇

く僕か  
れらり  
たにお  
もが  
の家族とは  
絆とは

## 2014.11.16日

開演 1回目公演 13時30分開演(13時開場)

2回目公演 17時30分開演(17時開場)

会場 刈谷市総合文化センター 小ホール

文化工房ガリヤ

<https://www.facebook.com/bunkakouboukariya>

主催 文化工房ガリヤ(刈谷市総合文化センター内)

刈谷市・刈谷市教育委員会

刈谷市総合文化センター(指定管理者:KCSN共同事業体)

協力 NPO法人 C.A.ワークス

株式会社 キャッチネットワーク

合資会社 中善楽器



# く僕か れらり たにお もが tiesの

文化工房かりや第4回企画公演

civil

## 家族とは 絆とは

脚本/演出 兵藤友彦 ひょうどう ともひこ  
1964年、愛知県岡崎市生まれ。早稲田大学卒業。愛知県立刈谷東高等学校(昼間定時制)演劇部顧問。元不登校の生徒たちと創り上げた『Making of「赤い日々の記憶」』で、2004年、文部科学大臣賞受賞。その他、愛知県芸術選奨文化奨励賞、中日賞など多数受賞。10年間で3度、定時制の刈谷東高等学校演劇部を全国大会出場に導く。授業で演劇表現を教えるほか、各地で講演会や演劇ワークショップなども行う。2013年、市民に芸術との出会いの場を提供することを目的にNPO法人「C.A.ワークス」を設立する。著書に「今、ここにあなたといること」(角川学芸出版)。同書は2013年ミュージカル化された。

制作 甲村敬司(C.A.ワークス)  
演奏 多田直幸(作曲家)  
造形総合 高木康宏



脚本/演出 兵藤友彦  
(愛知県立刈谷東高等学校 演劇部顧問)

公演によせて

- ・日常性と非日常性。
- ・永続性と一回性。
- ・日常のからだと役者の肉体。

今回の企画は市民劇。「市民」と「劇」という、依って立つ基礎が異なる(少なくとも私は、異なるという立場に立っている)二つの存在を、如何に止揚し、意味あるパフォーマンスとしてまとめあげるか。もっと直截に言えば、市民が演劇をやる意味とはいったい何なのか。これが今回の芝居づくりの全過程で、私が追及したテーマであった。

数か月間、見知らぬ市民の皆さんと稽古をし、芝居を作ることを通して、私なりにこのテーマに対する解答を得るべく努力した。今日、皆さんにお見せする芝居がその解答である。どうぞ、ご覧になってください。

## 刈谷市長 竹中良則

この度、文化工房かりや第4回企画公演・市民劇『かりおが僕らにくれたもの』が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

文化工房かりやは、発足4年目を迎え、舞台公演の企画・制作やラジオ番組等を通じて刈谷市の新たな魅力を発信していただいています。

今年は、「演劇の面白さを広めたい」との強い思いから、高校演劇で著名な兵藤友彦氏初の市民劇に挑戦されるこのことです。この刈谷を舞台に、市民出演者の個性を活かした脚本と熱気あふれる演技により紡がれる物語は、「かりお」を通じて「家族とは、絆とは」を問いかけます。ご覧になった皆様それぞれがどんな答えを出されるのか非常に楽しみであります。

最後に、本日の公演の成功と文化工房かりやの益々の発展と活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



## 文化工房かりや代表 磯部洋子

本日は、文化工房かりや第4回企画公演・市民劇『かりおが僕らにくれたもの』にご来場くださりまして、誠にありがとうございます。

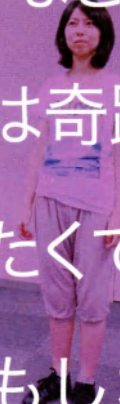
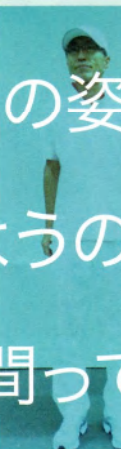
文化工房かりやは、文化に親しみ、文化を育てる活動をしています。この公演で私たちは、兵藤友彦先生から多くを学びました。演劇に興味を持った市民出演者は、厳しい稽古を乗り越え、役者として心を一つにし一味違う芝居をお届けします。そしてこの芝居で、「かりお」がもたらす変化や気づきに、会場の皆様も一緒に“創造”してみてください。物語は、チケットを手にしたときから始まっています…。

本日の公演開催にあたり、惜しみないご指導をいただきました先生方、40名の出演者、関係スタッフ、そして会場にお越しいただきました皆様に、心より感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。





これらの写真は、稽古の合間に撮影された。撮るのは結構大変だった。カメラを向けられると、人はとっさに身構える。一人ひとりカメラの前に立ってもらい、身構える隙を与えずに瞬時にシャッターを押す。撮影は、緊張する作業だった。そんな苦勞をしてまで撮ったのは、自意識が動き出す前の人間の姿を写しとりたかったからだ。すべての写真がそのねらいに叶ったものとは言わないが、何枚かには、人間の「生(き)」のままの姿が確かに写っている。これらの写真から私は、言いようのない「寄る辺なさ」を感じる。うまく言えないが、「人間って、本来は、一人ひとりポツンとして、バラバラなんだよな」と感じてしまう。今回の芝居、「絆」がテーマの一つだが、「絆」を結ぶのは、世間で思われているよりも、はるかに難しいことなのではないか。寄る辺なく佇む人間たちの間に、あるかなさかの、細い細い糸のような、絆が結べたのなら、それは奇跡にちがいない。でも、そんな奇跡のような瞬間を見たくて、懲りもせずには私は芝居をやり続けているのかもしれない。







もっと刈谷に  
演劇を広めたい。  
願いをこめて

小学生から70代までの幅広い年齢層の公募による市民40人が、約半年間練習に練習を重ねて、ひとつの舞台を創り上げました。演劇の面白さ、楽しさをみなさんに伝えられるよう精一杯演じます。



出演者：今回の公演に応募していただいた市民の皆さんです。 浅津劣斗／石宮古巻／市川瑞希／いちごミルク／うさっぴー／大田あやこ／オダギリ子／音猫／おまつ／掛橋修／季咲／キュート／栗林昌弘／小平井友紀／近藤トム／さくら／サッチ／さとうはるか／Satomi／清水美穂／笑多／ジロー／鈴木のりこ／平みい／たみこながた／チロル／ネネム／野々垣健／早瀬まどか／バラッサ／春野園／日向ちな／ピルクル加藤／深谷美ノ里／Maeyan／水浜ゆう／みん／若紫／和笑／わびさび

## 文化工房かりや 市民スタッフ募集中



刈谷市とアイリスと共に文化芸術を  
発信するボランティア団体です。

〔文化工房かりやスタッフ〕 代表：磯部洋子 副代表：小森義史  
石黒眞奈美／磯村忠／井野由美子／牛田祥子／内山豊／岡田清／神谷友美／北岡保興  
／大川八千代／北村菜摘／久保田富士子／黒部春香／額瀨涼香／小平絹子／後藤好男  
／榊原裕美／柴田枝里／柴田奈保子／鈴木鋭二／鈴木良恵／鷹巣由佳／塚本秀子／  
手塚勝浩／中村光重／野口史子／野村敏子／原保宏／藤田佳子／藤本史子／正木典子  
／正木美代子／宮田裕美／丸木宏一／山崎敦子／山本陽子／渡辺智子（順不動）

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

# 文化工房かりや

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104  
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440  
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp

Twitter: @B\_K\_kariya

Facebook: bunkakouboukariya

Blog: bkkariya.wordpress.com

